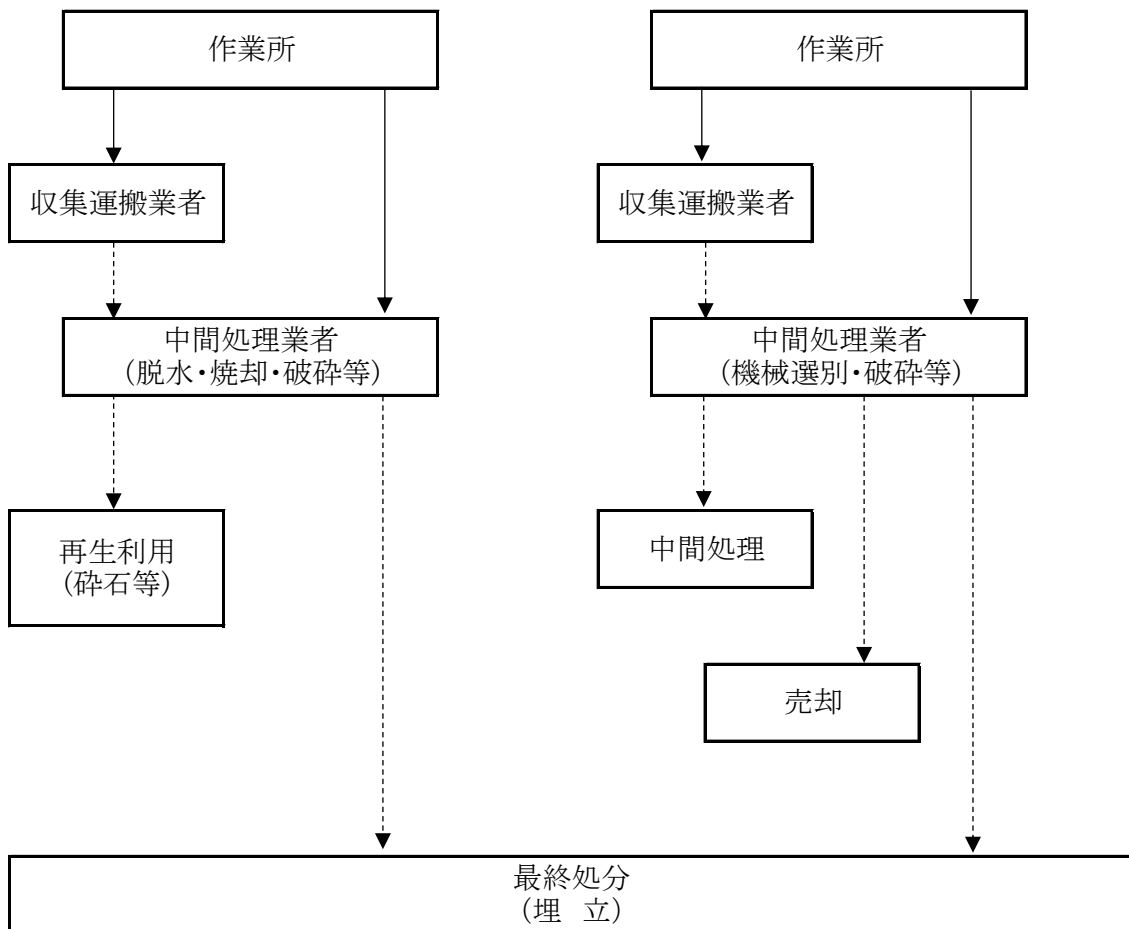


産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 30 日	
徳島県知事 殿	
提出者	
住 所 徳島県阿南市富岡町内町211番地	
氏 名 株式会社 八千代組	
代表取締役 森本 則明	
電話番号 0884-22-0367	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 八千代組
事業場の所在地	徳島県阿南市富岡町内町211番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D 建設業 06 総合工事業
② 事業の規模	前年度完成工事高 約95億円
③ 従業員数	26名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	第1面別紙（フロー図）参照

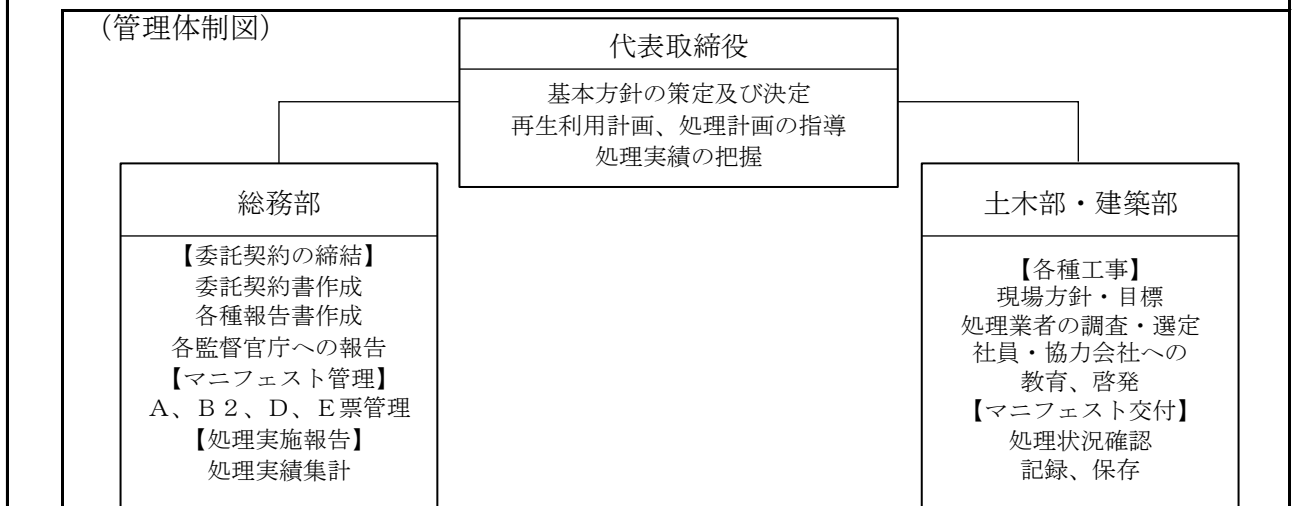
④産業廃棄物の一連の処理の工程(フロー図)

① 杭工事・地盤改良工事の廃泥水の脱水、解体コンクリートの破碎又は建設木くずの破碎、焼却等の処分を委託する場合。

② 破碎・機械選別による中間処理の許可を有する処理業者へ委託する場合。



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・別紙（第2面関係）参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・別紙（第2面関係）参照		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現場で分別する廃棄物を種類毎に保管 ・過剰梱包の減少化 ・再生利用や再資源化施設への搬入
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・設計、施工方法の検討による廃棄物の発生量の減少化 ・現場で分別する廃棄物の種類、分別方法、容器等についての再検討及び混合廃棄物の減少化 ・再生利用や再資源化施設への搬入を再検討

## 別紙(第2面関係)

### 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

#### ①現状

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず
排出量	294.46 t	57.87 t	0.00 t	1.52 t
これまでに実施した取組	・再生利用業者への処理委託 ・優良認定処理業者への処理委託	・再生利用業者への処理委託 ・優良認定処理業者への処理委託	・優良認定処理業者への処理委託	・優良認定処理業者への処理委託

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	建設汚泥
排出量	2.22 t	0.57 t	6.20 t	0.17 t
これまでに実施した取組	・優良認定処理業者への処理委託	・再生利用業者への処理委託 ・優良認定処理業者への処理委託	・優良認定処理業者への処理委託	・再生利用業者への処理委託 ・優良認定処理業者への処理委託

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）
排出量	0.60 t	56.75 t	13.40 t	13.44 t
これまでに実施した取組	・分別徹底	・再生利用業者への処理委託 ・優良認定処理業者への処理委託	・再生利用業者への処理委託 ・優良認定処理業者への処理委託	・優良認定処理業者への処理委託

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物		排出量合計
排出量	0.00 t	0.00 t		447.20 t
これまでに実施した取組	・分別徹底	・再生利用業者への処理委託 ・優良認定処理業者への処理委託		

#### ②計画

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず
排出量	294.00 t	57.00 t	0.30 t	1.50 t
今後実施する予定の取組	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・分別徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・分別徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	建設汚泥
排出量	2.20 t	0.55 t	6.00 t	0.15 t
今後実施する予定の取組	・分別徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・分別徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）
排出量	0.60 t	56.70 t	13.00 t	13.00 t
今後実施する予定の取組	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・分別徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物		排出量合計
排出量	0.80 t	0.20 t		446.00 t
今後実施する予定の取組	・分別徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大	・再生利用業者への処理委託徹底 ・優良認定処理業者への処理委託拡大		

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

別紙(第3面関係)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		



別紙(第4面関係)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状

産業廃棄物の種類				
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類				
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

②計画	【目標】・別紙（第5面関係）参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現場で分別する廃棄物の種類、分別方法、容器等についての再検討及び混合廃棄物の減少化 ・再生利用や再資源化施設への搬入を再検討 ・優良認定処理業者への搬入を再検討		
※事務処理欄			

別紙(第5面関係)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず
全 処 理 委 託 量	294.00 t	57.00 t	0.30 t	1.50 t
優良認定処理業者 への処理委託量	294.00 t	57.00 t	0.30 t	1.50 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	294.00 t	57.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	混合（安定型のみ）	建設汚泥
全 処 理 委 託 量	2.20 t	0.55 t	6.00 t	0.15 t
優良認定処理業者 への処理委託量	2.20 t	0.55 t	6.00 t	0.15 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.55 t	0.00 t	0.15 t
認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）
全 処 理 委 託 量	0.60 t	56.70 t	13.00 t	13.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.60 t	56.70 t	13.00 t	13.00 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.60 t	56.70 t	13.00 t	0.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物		
全 処 理 委 託 量	0.80 t	0.20 t	t	t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.80 t	0.20 t	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t	t	t
認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。